

26年度の秩父市の予算が決定

※3月定例会（3月7日から3月24日まで開催）では、26年度の各会計予算を含めた市長提出議案47件のほか、議員提出議案7件、請願1件を審議しました。

※26年度一般会計予算に係わる質疑、各議案に対する討論の主な内容は下記のとおりです。

総務・建設関係

除雪作業委託

問 除雪作業委託料の内容、積算根拠は、想定外の事態の場合の対応は、合併前との比較は。

【答】除雪作業委託料は、市道353路線、約22.1kmの1回分で、秩父451万8千円・吉田地区120万円・大滝地区100万8千円・荒川地区203万円、全体で1854万8千円。不足の場合は、他からの流用、予備費で補う。

合併前は旧秩父99万
円・旧吉田町20万円・旧
大滝村120万円・旧荒
川村200万円で、合計
で439万円であった。

本庁舎等の建設

問 庁舎・市民会館の建設費については、これまで市民に案内されていたのは、市長選公約として示されている49億円。これが、今月初めの新聞紙上で9億円アップの58億円（舞台・音響設備を加えると63億円）となるとの報道がされ、市長自身「予想以上の額で市民にいか理解していたか」

か悩んでいる」「数字から言えば、（公約違反）

になるかも知れない」と述べている数字。市民説明会をも経ない段階での継続費の計上は「手続き上、順序が違う」との指摘があるがいかかが。

答 市民説明会については、4月の下旬を目指して改めて説明会を開催するよう計画をしている。また、4月の市報で事業の概要について掲載し、市民説明会の案内についてもお知らせをする予定

着ぐるみ制作委託

問 着ぐるみ製作の時系列の予定はどのようにしているのか。

答 平成26年度公募による秩父市PRキャラクターの作成事業を計画している。スケジュールは4月から募集要項を定めて、その後6月～8月にかけて市報、ホームページ等で広くキャラクターデザイン募集を行い、審査を経て10月にはデザ

生活產業關係

生活・環境

インを決定していきたい
と考えている。製作にか
かる費用はデザインに
よって変わるが、1体50
万円程度として、消費税
等を含めて54万円を計上
した。なお、製作した着
ぐるみは、市内のイベン
トはもちろん市外で行わ
れるイベント等に参加し
て、秩父市のPRに活用
していく。

問 住宅リフォーム資金助成金の内訳について。

答 市内の中小事業者の振興を目的とした制度で平成15年度から実施している。公平性の観点から助成は1回限りだが、補助率10%、限度額15万円である。延べ3926件の申請を受けているが、申請件数は年々減少傾向である。25年度の交付件数は辞退等もあり149件。26年度の予算は平均して約12万円を140件



(吉田総合支所3階)

分、約10万円を7件分
合計1750万円を計上
対象の工事等をもて県
内でも有利な助成制度な
ので、今後も利用促進に
努めていきたい。

問 野良猫対策補助金の
内容について。

答 この補助金については、名称を「秩父市飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金」として市内にすむ野良猫に、市内の動物病院で不妊・去勢手術を受けさせる市民に対し、手術費用の一部を補助するものである。

この補助金に係る補助額は、不妊手術1匹につき8千円、去勢手術には3千円を補助するもので、動物病院の協力もあり、申請者は猫1匹につき7千円の負担で手術を受けさせることができるものである。

この補助金を制度化した経緯については、市に寄せられる野良猫に関する相談や苦情が徐々に増えてきたことによる。その背景には、猫の強い繁殖力によって野良猫が増えていることが考えられ、市としては、野良猫の繁殖を抑制し、猫関連のトラブルを減らしていくことを目的に実施していく

文教福祉関係

福祉・子育て

問 幼稚園預かり保育支援事業補助金について。

答 私立幼稚園において市が定める基準に基づき保育に欠ける児童の預かり保育に要する経費に對して補助を実施するものである。補助対象の幼稚園は、秩父ふたば幼稚園、秩父国際幼稚園、秩父ほうしよう幼稚園（秩父市居住者分）を予定。補助基準額は、保育に欠ける

子1人につき月額で、0歳児が10万7千円で1歳児と2歳児が5万7千円、満3歳児が1万1千円、4歳児と5歳児が9千円であり、26年度中に各幼稚園において、保育に欠け、かつ、預かり保育の利用が想定される児童数を基に算出した275万2千円をそれぞれ県が4分の3（2066万4千円）、市が4分の1（688万8千円）の補助率により予算計上した。

問 認定こども園の幼稚園預かり保育支援事業補助金について。

答 私立認定こども園の幼稚園機能部分に在籍し

市が定める基準に基づく保育に欠ける児童の預かり保育に要する経費に対して補助を実施するものである。補助対象の認定こども園としては、秩父幼稚園、秩父緑が丘幼稚園、大畑幼稚園、秩父さくら幼稚園を予定している。補助基準額は、保育に欠ける子1人につき月額で、2歳児が4万6千円、3歳児が1万1千円、4歳以上児が9千円であり、平成26年度中に認定こども園の幼稚園機能部分に在籍し、保育に欠けかつ、預かり保育の利用が想定される児童数を基に算出した205万5千6千円をそれぞれ県が4分の3(154万1千7千円)、市が4分の1(51万3千9百円)の補助率により予算を計上した。

問 幼稚園預かり保育改修事業補助金の内容は。

答 この補助金は平成26年度に幼稚園預かり保育支援事業を実施するために、園舎の改修、調理室の新設・改修、備品購入費等にかかる経費に対し、補助を実施するものである。補助対象の幼稚園は、秩父ふたば幼稚園および秩父国際幼稚園の2園を予定している。改修費等に対する補助として、補

助基準額は1園に対し2190万円とし、うち、県と市を合わせた補助率の12分の9を乗じた164万2千5百円、2園分328万5千円(県が292万0千円、市が36万5千円)の歳出予算を予定している。

なお、この補助金を受け事業を実施する私立幼稚園にあつては、事業開始後5年以内幼児連携型認定こども園または幼稚園型認定こども園へ移行することが交付の条件とされている。

学校・図書館

問 学校司書教諭補助員配置事業250万9千9百円の事業内容は。

答 25年度小学校中心だった司書教諭補助員の配置を26年度は小学校全校および中学校8校、計21人に増やす。予算額も約1800万円から約2500万円に増額となった。

問 25年より全小学校と一部の中学校で取り組んでいる学校図書館活性化事業の成果について。

答 学校図書館活性化の効果としては、司書教諭補助員に市立図書館司書

討論

反対

議案第28号について

反対理由は、消費税分が転嫁された使用料等を反映した予算であること。また、市長選挙時の公約である49億円から大幅にアップし、舞台・音響設備を加えれば63億円にもなるという市役所本庁舎等建設工事が、議会側が求めてきた市民への説明責任が果たされないまま平成26・27年度の継続費として計上されていること。大規模雪害後の市民意識の動向に鑑みても、説明責任を果たすとともに、何らかの形で市民との合意形成を図り直した上で提案すべき。本庁舎等の建設費に多額の

が本の整理、あるいは読み聞かせなどの研修指導を継続的に行なった結果、いつでも利用できる学校図書館に生まれ変わった。確実に読書好きな子供が増えていると感じている。

賛成

予算を計上している反面、市民生活に配慮した予算とは言い難く、反対。

議案第8号、9号、16号及び28号について

消費税増税に伴う市の施設の利用料金の改定は、国の政策によつて発生する問題である。

今回の消費税増税は、年々上昇する福祉関連の予算の増加によつて、国家財政は相当苦しい状況であり、このままでは財政が立ちゆかなくなる状態となる。

消費税増税は国民生活に大きな負担を強いるものであり、できれば上げたくないが、しかし現在の国家財政等を考えると上げざるを得ないと判断する。

福祉関連の予算に対応することになると、残念ながら市が管理する施設も例外ではない。よつて今回の条例改正や予算は妥当なものかと判断して賛成する。



3月定例会本会議の様子

反対

議案第8号、9号、16号、18号、22号、32号、33号及び34号について

いずれも消費税増税に対応する内容となつてい

る。消費税増税は、暮らしも経済も財政さえも破壊する恐れが大きいので中止すべきだ。また納付義務のない消費税分を手数料や使用料に上乗せして徴収することは許されないで反対する。

議案第12号について

年金支給額の減額など高齢者福祉施策が後退する中で、ささやかな祝いを減額することに反対する。

議案第19号及び20号について

介護保険法の改悪によるユニバーサルサービスの後退、地方への丸投げの受け皿としての条例制定であり反対する。

議案第24号について

19・20号の制定に対応する内容のもので、19・20号に反対の立場から反対する。

議案第28号について

手数料・使用料などは、消費税増税を転嫁する内容となつていて、学校給食費補助金及び多子世帯子育て助成金の廃止等、を含む内容となつてい

ることから反対する。

議案第29号、30号及び31号について

29号では前期高齢者の自己負担割合の増大、31号では軽度者へのサービス切捨てなどを含んでおり、制度そのものの抜本的見直しを求める立場から反対する。

賛成

議案第28号について

社会保障・税番号制度(マイナンバー制)の導入趣旨は、住民の利便性の向上や、公平・公正な社会を実現するためだとされている。

また、懸念されている個人情報漏えいや悪用に対しては、利用範囲や情報連携の範囲を法律に規定し目的外使用を禁止し、成りすまし防止のために、個人番号のみでの本人確認を禁止するなど措置が図られている。

安全対策が施された公平・公正な社会を実現するための「社会保障・税番号制度」について、その導入に向けた今回の予算措置に賛成する。

3月定例会で審議した議案、請願の結果

議案番号	議案等の件名	議決結果	会派ごとの賛否						議案番号	議案等の件名	議決結果	会派ごとの賛否					
			市民8人	彩政6人	共産4人	公明2人	新2人	無会1人				市民8人	彩政6人	共産4人	公明2人	新2人	無会1人
第1号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	第28号	26年度一般会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	×
第2号	指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	第29号	26年度国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第3号	辺地に係る総合整備計画の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	第30号	26年度後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第4号	新市まちづくり計画の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	第31号	26年度介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第5号	市長政治倫理条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第32号	26年度下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第6号	市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第33号	26年度農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第7号	公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第34号	26年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第8号	クラブハウス21条例等の一部改正	原案可決	○	○	×	○	○	×	第35号	26年度公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第9号	聖地公園条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	○	×	第36号	26年度駐車場事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第10号	社会教育委員設置条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第37号	26年度水道事業会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第11号	青少年問題協議会条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第38号	26年度市立病院事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第12号	敬老祝金支給条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	○	○	第39号	26年度一般会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第13号	重度心身障害者医療費支給に関する条例及び市議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第40号	副市長の選任について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第14号	準用河川管理条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第41号	教育委員会委員の任命について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第15号	市営住宅条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第42号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決	○	○	○	○	1/2	○
第16号	都市公園条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	○	×	第43号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第17号	学童保育室条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第44号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第18号	市立病院使用料及び手数料条例及び大滝国保診療所使用料及び手数料条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	○	○	第45号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第19号	地域包括支援センターによる包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	×	○	○	○	第46号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第20号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例	原案可決	○	○	×	○	○	○	第47号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第21号	工場立地法地域準則条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議員提出議案	議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第22号	25年度一般会計補正予算(第5回)	原案可決	○	○	×	○	○	○		議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	○	○	○	○	○	○
第23号	25年度国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○		食の安心・安全の確立を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
第24号	25年度介護保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	×	○	○	○		消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書	原案可決	○	○	×	○	○	○
第25号	25年度下水道事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○		重度心身障害者医療費助成制度の見直しに関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
第26号	25年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○		消費税増税の実施中止を求める意見書	否決	×	×	○	×	×	○
第27号	25年度市立病院事業会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	請願	「特定秘密保護法」の撤廃を求める意見書	否決	×	×	○	×	×	○
										介護保険要支援者への保険給付を継続するよう国に意見書の提出を求める請願【付託先：文教福祉委員会】	不採択	×	×	○	×	×	○

市民ク：市民クラブ 彩政会：彩政会 共産党：日本共産党秩父市議団
 公明党：公明党 新風：新風 無会派：会派に属さない議員
 ※ 議長は人数に含まれていない。

○：賛成 ×：反対 ○/○：賛成人数/会派人数

人事案件

秩父市副市長の選任、秩父市教育委員会委員の任命、秩父市固定資産評価審査委員会委員の選任および人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

秩父市副市長

横井 隆幸(金室町)

秩父市教育委員会委員

久保 禮子(栃谷)

秩父市固定資産評価審査委員会委員

濱田 雄司(桜木町)

島崎 幸二(荒川日野)

松本 健次(上町)

笠原 秀明(荒川上田野)

人権擁護委員候補者

井原 映子(大野原)

高野 豊子(滝の上町)

●市議会を傍聴してみませんか●
6月定例会について

平成26年6月定例会の日程につきましては、4月20日の「秩父市議会議員選挙」により、議員の改選が行われたため、現時点では未定です。5月中旬頃には日程が決まりますので、ホームページでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

秩父市議会事務局

電話：0494-72-2122